

武蔵・伊織まつり

15周年記念講演会、並びに武蔵・伊織まつりご案内
武蔵・伊織まつり奉賛会

新緑の好季節になりました。みなさまにはお元気で送日のことと存じます。
平素は本会のために色々ご配慮を頂き、厚く御礼申し上げます。

さてこの度姫路在住の作家、寺林 峻先生が宮本武蔵の高砂生誕をテーマにした初めての武蔵の小説『双剣の客人』を発刊されました。

そこで15周年記念武蔵・伊織まつりに当たり下記のとおり講演会を開催いたしますので、お誘い合わせの上、ご来聴くださいますようご案内申し上げます。(入場無料)

なお続きまして下記のとおり武蔵・伊織まつりを開催いたしますので、合わせてご来場ください。

* 講演会 演題「宮本武蔵と高砂」

講師 寺林 峻先生

(日本文芸家協会会員・日本ペンクラブ会員)

1 日時 5月20日(日) 13:30~

2 場所 高砂市勤労会館 4F

当日ご希望の方に『双剣の客人』(定価1,800円)を頒布いたします。



* 15周年記念武蔵・伊織まつり

1 日時 5月27日(日) 9:00~

1 催しなど 開会式(宮本武蔵・伊織生誕地碑前)

(雨天の場合米田小学校体育館)

式典、宮本武蔵木彫像(芝 良空氏作)除幕式

特別剣舞「巖流島の決闘」小倉 鼓間清風一門

武道大会(剣道・少林寺拳法・空手道)

(高砂市総合体育館・高砂市勤労者体育センター)

書道・絵画展(米田第一公会堂)

演芸大会(米田小学校体育館)

資料展(宮本武蔵・伊織資料館)



会長 唐津 巳喜夫 幹事 内海 薫 クラブ会報委員長 都倉 達 殊

例会日時 毎週水曜日 12:30

例会会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

高砂青松

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan

Rotary Club



意識を喚起し 進んで行動を

“CREATE AWARENESS, TAKE ACTION”

2000~2001年度国際ロータリーのテーマ



例会記録 (2001. 5. 9 (水)) 通算 1116 回

例会記録 (2001. 5. 16 (水)) 通算 1117 回

ソング 「我等の生業」「歓迎歌」

本日のゲスト RYLA参加者 久保 元 様

来訪ロータリアン 5月9日(水) メーキャップ

報告(田中浩)	齊藤隆雄様(姫路R.C.)	室田隆重様(姫路中央R.C.)
	長谷川一郎様(姫路中央R.C.)	田尻彰様(姫路東R.C.)
	篠原正泰様(姫路東R.C.)	壺坂俊彦様(姫路東R.C.)
	中林幸三様(姫路東R.C.)	中村勉様(姫路東R.C.)
	源吉嗣郎様(明石西R.C.)	仲田徹郎様(明石南R.C.)
	桜井勇雄様(明石南R.C.)	西海淳様(明石南R.C.)
	生頼清志様(明石南R.C.)	吉川勝之様(加古川R.C.)
	森本克己様(高砂R.C.)	砂川次善様(高砂R.C.)
	半田啓明様(高砂R.C.)	小松守道様(高砂R.C.)
	萬山忠彦様(高砂R.C.)	橋 葵様(高砂R.C.)

プログラム予定

5月16日(水)	5月23日(水)	5月30日(水)	6月6日(水)
青少年奉仕委員会担当 RYLA参加者 久保元様	健康診断の 結果報告 植杉会員	クラブ協議会	各委員会事業報告

高田英二様(高砂R.C.) 二見博様(高砂R.C.)
 5月16日(水)
 辻泰次郎様(高砂R.C.)
 松田怜様(高砂R.C.)
 大村泰司様(高砂R.C.)

出席報告(澤田) 4月18日 会員数58名 欠席者3名 出席率94.44%<修正による>
 4月25日 会員数58名 欠席者0名 出席率100%<修正による>
 5月 日 会員数58名 欠席者16名 出席率69.81%

誕生祝 西田光衛 会員
 都倉達殊 会員



結婚祝 高井利夫 会員
 内海薫 会員
 三宅禮三 会員
 佐野栄作 会員
 丸山滋夫 会員
 三輪佳公 会員
 小林久夫 会員
 藤本 顕 会員
 西中亮二 会員



委員会報告 ◎ 親睦委員会
 2クラブ合同ゴルフコンペの案内
 5月17日(木) 加古川ゴルフクラブ

ニコニコ報告 森本孝義 ……久保元様、ライラセミナーご苦労様でした。本日はお忙しい中ありがとうございます。
 佐野栄作 ……RYLAメンバー久保元さんの卓話 みなさんよろしく御願ひします。結婚のお祝ありがとうございます。
 圓山善輝 ……先日は父の葬儀に際し、多数御会葬賜り厚く御礼申し上げます。

尾崎和夫 ……年令のことも考えず、ゴルフの練習をしすぎて、とうとう大森先生(整形)の厄介になってしまいました。高年令の方注意して下さい。
 三宅禮三 ……結婚祝ありがとうございます。46年目になります。
 都倉達殊・西田光衛 ……誕生日のお祝有難うございました。
 内海薫・丸山滋夫 ……結婚のお祝ありがとうございます。
 柿木國夫 ……所用のため早退致します。
 庄司武 ……健康診断では先生方には大変お世話になりました。年一度の健康チェックが出来ました。一層健康に留意して頑張りましょう。

幹事報告

第39回 通算1065回

- ロータリー米山奨学生学友会(関西)から
 2001学年度の総会及び新規奨学生歓迎会の案内
 日時: 2001年6月3日(日) 11:00~14:00
 場所: 大阪国際交流センター2F
 参加費: 5000円(1人当り)
 - あすなろ学園から
 第14回あすなろ祭の案内
 日時: 5月27日(日) 10:00~13:00
 場所: あすなろ学園
 - 相生R.C.から週報が届いています。回覧
 - ウエスティンホテル淡路から
 「特別優待価格を設けているので是非ご利用を」との案内が届いています。
 - 例会変更
 青松R.C.
 6/20(水) → 6/21(木) 創立記念例会 於:かき幸 時間未定
 6/21(木) → 親睦ゴルフ 加古川GC
- ※ 今年度の事業報告書を今月末までに事務局まで報告下さい。

弔 辞

本日ここに故 菱田策三さんの告別式が執り行われるにあたりご霊前に謹んでお別れの言葉を申し上げます。

菱田さん、あなたは1978年、即ち昭和53年6月24日、私たち高砂青松ロータリークラブ創立と同時に入会され、2年後の昭和55年7月には三代目の会長に就任され草創期のクラブを指導し、育成に尽力されるとともに、その後も現在に至るまでクラブの長老的存在として私たち後輩を適切な助言と積極的な行動によって御指導いただきクラブの発展に寄与された功績は誠に大いなるものがあります。

菱田さん、あなたは、時には辛口のことばをもって、時には慈愛の心で私たち後輩に接し、ロータリーの精神の敷衡に努められ、千金にも値する数多くの実績を残されました。

私たちは、まだまだ多くの御指導を戴かなければならないあなたの突然の訃報に接し誠に残念でなりません。

幽明、境を異にされた今は、ただただあなたのご冥福をお祈りするばかりでございます。

只今、ご遺族の皆様方の深いお悲しみを拝察し、お慰めの言葉もありませんが、この上は彼岸より、ご遺族様の行く末をお守り下さるようお祈り申し上げ、クラブを代表して哀悼の意を表し弔辞と致します。

では菱田さんお別れでございます。どうか安らかにお眠り下さい。

平成13年5月12日

高砂青松ロータリークラブ会長 唐 津 巳喜夫

本日のプログラム 青少年奉仕委員会 『RYLAセミナーを終えて』

RYLA参加者 久保 元 様



1. はじめに

『おー 久保、キャンプ行かへんか?』『はあ、キャンプですか』『おー なんかキャンプのリーダーちゅうか、指導みたいなこと教えてくれるいうイベントがあるねんけどな、お前そんな好きやろ?』『なんや面白そうですね。それ参加するのになんぼするんですか?』『いや、ただや』『えっ、マジですか?』『おー、なんや女の子もようさんくるみたいやで』『それは、ぜひ行かせて頂きます』

その後、直前になってセミナー形式(講義などがある)ということが判明したのですが、このように二割の好奇心と、八割の下心を抱いて今回のセミナーに参加させて頂くことになりました。

2. フェリー乗り場にて

出発日: 3月22日は晴れ。四日分の荷物を積みこんだバッグを持って姫路港に向かいました。姫路港に着いたのは集合時間30分前の8時45分だったのですが、そこには自分と同じくらいの大きさのバッグを持った、明らかにソレと分かる人間がウヨウヨいまして異様な雰囲気が出ておりました。

なぜ異様かと言いますと、私はもともと気軽な性格のほうなので、容赦なく横に座っている女性の方にベラベラとしゃべりかけて楽しい時間を過ごしておりましたが、多くの人(特に一人で参加されているような方)がオドオドしている光景が目についたからであります。

『出会い』というのは人生の中で、貴重な瞬間だと思います。そして、何事にしろ一番最初というものは印象に残りやすいものですので、フェリーの待ち時間、そしてフェリー移動中の時間を楽しく過ごせるようなイベントがあってもいいのではないかと思います。

3. 余島の自然

余島は小豆島の南にある、長径2.2kmの孤島です。島には、広葉樹が生い茂り、白い砂浜や青い海といった豊かな自然に囲まれています。

島独特のアットホームな雰囲気が漂い、まるで別世界に来たような気持ちになります。特に印象的だったのは、外との情報がほとんど遮断されることです。

私は毎朝、近所の図書館に行って新聞六紙に目を通して、やっと一日が始まるという生活をしている人間ですので、この『情報の遮断』という事態には、当初かなりショックを受けました。もちろん、テレビなんてものはありません。(一応、インフォメーションセンターという、島の職員の方が暮らしておられる施設には一台あるらしいのですが、利用する機会はありませんでした。)

しかし、所詮『情報』はただの『情報』。なければいい、どうってことないんですね。いくらでも置き換え可能ですから。むしろ大切なのは、そう簡単には変わらない『知識』のほうなのだ実感しました。

(実は、このセミナー中に地震がありました。広島を中心に、マグニチュード5.0 ぐらいの中規模のやつです。余島は、震度3 ぐらいでしたが、どこが震源地かがわからなかったのです。さすがに、その時は情報がほしいとは思いましたが…。

ちょうど、その前日ぐらいにロシアの人工衛星『ミール』が落ちてくるみたいなことを耳にしましたので『えっ!? 今の地震はミール落下失敗 = 放射能散乱 = 人類滅亡!? 』みたいな過剰に考える人もいたくらいです。)

4. オリエンテーション

まず、余島に着きますと最初に昼食を取りました。簡素なメニューでしたが、味のほうはGOOD がギュッとでした。(周りのみんなも絶賛でした)

その後、四国からくるメンバーをキャビン(ログハウス)で待ち、島を一周散歩してから、芝生の上で昼寝をしました。

15:00 からオリエンテーションでしたので、10分ほど前にその会場である大集会室に言って、隣に座った人と話をして時間を過ごしました。

オリエンテーションでは、まず第2670地区ガバナーの太田さんがロータリーについての話をされて、その後第2680地区ガバナーの中島さんが『今回はうちら神戸ロータリーの主催やで』ということを言われて、最後に大御所的イメージの第2680地区顧問の今井さんが『人間の尊厳とは』といきなり熱い話をされて『おお』となりました。

その後、現場のスタッフの方が、余島での生活に関する諸注意を言われてオリエンテーションは終了しました。

(以上、オリエンテーションに関しては、すべてあいまいな記憶に基づいておりますので、実際とは若干異なるかもしれません)

5. キャビンタイム：人間の尊厳について語る

『キャビンタイム』とは、セミナー参加者達が15人ほどの最初に決められたグループに分かれ、キャビンとよばれる建物(十五畳くらい)に集まり、その日の講義内容などについてお互いに意見を述べ合うというものです。

それぞれのグループには、カウンセラーと呼ばれるロータリーアンの方々約2名ついてくれて、様々なアドバイスをしてくれます。

私はD班だったのですが、どのような人がこのRYLAセミナーに参加しているのかを説明するために、ここでD班であったメンバーを簡単に紹介します。(年齢順に)

参加者

- ① 三谷さん：高知で工場員をやっておられる社会人の方です(男性26歳)
- ② 都築さん：このセミナーに参加するために東京からやってこられたロータリー関係

の仕事をやっておられる方です(女性26歳)

- ③ 本庄さん：神埼町で商工会の職員をやっておられる方です(男性25歳)
- ④ 上西さん：愛媛で保険業(自営業)をやっておられる方です(男性25歳)
- ⑤ 堤さん：香川でDocomoのアドバイザーをやっておられる方です(女性24歳)
- ⑥ 私：姫路工場大学四回生
- ⑦ 藪中さん：明石で看護・介護をやっておられる方です(女性23歳)
- ⑧ 原見君：関西福祉大学四回生 地域福祉関係の勉強をしています(男性22歳)
- ⑨ 小林君：関西福祉大学四回生 YMCAのリーダーです(男性22歳)
- ⑩ 杉山さん：鳥取大学農学部で卒業研究をしています(女性22歳)
- ⑪ 木元さん：神戸女子大学(女学院?)の学生(女性22歳)
- ⑫ 樽野君：香川医科大学の学生(男性22歳)
- ⑬ 長谷部さん：香川女子大学(女学院?)の学生(女性22歳)

カウンセラー

- ① 高岡さん：松山で自営業(石材)をやっておられる方です
- ② 由良さん：神戸垂水で歯科をやっておられる方です

以上、参加者は13名です。セミナー参加理由は、社会人の方は上司の方の推薦というのがほとんどで、学生の方は大学の教授の推薦、YMCAの推薦、ローターアクトクラブの会員などでした。

話を戻しまして『キャビンタイム』ですが、我がD班ではディベート方式でかなり攻撃的な意見の述べ合いをしました。お互い、全く別の分野で活動をしている人間ばかりですので意見が分かれるのは当然のことだと思います。特に、今回のテーマ『人間の尊厳』では、意見をまとめること自体が、『個人の尊厳』に反するようでたいへん難しかったです。

もちろん、ディベートばかりやっていたのでは疲れますので、途中からは『お酒』が入りまして、いわゆる『朝まで語ろうモード』になりました。学生はしかり、夜を徹して語り合うことは、人間が生きていく上で必要なことだと思います。

このように『キャビンタイム』の実際は、四割の『討論』と六割の『語り』で夜を徹して行われたのでした。

6. 講義(一日目)：生と死

一日目の講義は、関西学院大学社会学部専任講師である藤井美和先生の『生と死』についてでした。

『死についてどう考えているか?』『人生をどう生きるか?』という問いの元に、生まれてから死ぬまでの『ライフサイクル』を書いたり、死に対する不安度を測る『DAS Point』アンケートといった、日頃考えもしなかったことを学びました。

私としては死について考えることは、『生きる意義』や『人生の価値観』を考える上で必

要なことであると思っていますので、今回の講義はたいへん参考になりました。

しかし、その日の晩にキャビンで話し合いをすると、『死ぬことなんか考えたくない』『死については触れたくない』といった、死についての考えを一切拒否したいと思っている人もいたので、人の価値観は様々であると実感しました。

7. キャンプファイヤー：神聖なる夜

キャンプファイヤーと言いますと、踊りや一発芸などのハジけたイメージがあったのですが、今回のキャンプファイヤーはそれとは全くの正反対。非常に厳かと言いますか、より適切な言葉でいうならば神聖なものでありました。

その内容と言いますと、まずキャンプファイヤーが始まる鐘が鳴りますと、全員が一列に並んで黙ってキャンプファイヤーの会場に向かいます。(私語は厳禁です)道中、ろうそくに照らされた『夢』や『希望』と書かれた道しるべがあります。

会場につきますと、そこは真っ暗で、ゆっくりと音楽が流れています。全員がキャンプファイヤーを取り囲み終わりますと、隣の人とお互いに手を握ります。すると、夜もふけていますので、握り合った相手の手のぬくもりがジーンと伝わってきます。

そして、顧問の今井さんが薪に火を燈します。パチパチと火はゆっくり燃え広がり、真っ暗で何も見えなかった人々の顔がうっすらと見えてきます。その中で、今井さんが人間について語ります。

帰り道ではロータリアンの方々、一列に並んで参加者を迎えてくれています。そして、お互いに握手をし合いキャンプファイヤーの終了です。

私自身もそうなのですが、このキャンプファイヤーがセミナーの一番の思い出という方も多いのではないのでしょうか。

8. 講義(二日目)：人間には何が大切か

二日目の講義は、元神戸大学名誉教授 (財)兵庫県長寿社会研究機構理事長の野尻武敏先生によるものでした。

『人間には今何が必要か?』というテーマの元に、社会学的な歴史的・思想的パースペクティブを伴ったハイレベルな講義をしてくださいました。キリスト教に始まり、理神論、無神論、没落論さらにはウエーバー、ニーチェ、マルクス、戦後民主主義とまるで大学の経済学の授業のような思想に関する歴史を丁寧に教えてくださいました。

私は理学部の学生なのですが、どちらかといえば文系型人間であり、法律・経済・政治といった社会科学は、本来専門である物理学より、なぜかよくできるという非常に変わった人間ですので、今回の講義はまさに興味を中心!やたらはりきって講義に望みました。

しかし、キャビンに戻って話をすると、やはり『何言っているかわからへんかった』という声が多く、少しハイレベル過ぎる気もしました。

9. フォーラム：人間の尊厳

フォーラムとは、日本語で公開討論会と言われており、その名のごとく公開の場で意見を述べるといふものであります。

三日間のキャビンタイムで話し合ったことを、各班ごとに横造紙にまとめてプレゼンテーションを行いました。

我がD班では、『思いやり』をキーワードに、バイオテクノロジー問題(クローン人間)や高齢化問題、介護保険問題といった現在社会の論点に関する考えを述べました。

個人的に気になったのは『自殺』についてです。自分の周りでも見られるのですが、最近『自分の生きる目的がわからなくなった』などの理由で自殺未遂をする人間が増えていのではないかと感じるのです。セミナーに参加した女の子も、友達が自殺未遂をして病院に運び込んだ経験があると言っていました。時代の境目に現れる、一種の拒絶反応ではないかと思っているのですが、今でも気になる問題です。

10. 講義(三日目)：いのちの共有

最後の講義は、元RI知事の今井鎮雄さんによる『いのちの共有』に関する話です。

『ノーマライゼーション』をキーワードに、21世紀社会のあるべき姿について熱く語ってくれました。特に、印象に残ったことは『教育』の大切さです。

わかりやすいプレゼンテーションもさることながら、やはり戦争を乗り越えてこられた人間というのは迫力が違うと思いました。後光がさしているように感じました。

また、講義の最後に総理の親戚という森さんが『人間の目的は、良き子孫を残すため』という人生の教訓になるような言葉を語ってくれました。

11. 余島よさらば

『諸行無常』とは言いますが、出会いがあれば別れもあります。あっという間に四日間が過ぎ、別れの時がやってきました。この日の天気は雨。まるで天が私達の気持ちを表現してくれているようでした。

迎いのバスが来ると、私達は手を取り合い、お互いに『がんばれよ!』と励まし合いました。

何をがんばるかなんてわからない。ただ、手を取り合い、相手のぬくもりを感じ、自分の存在を確認することが生きていく上での重要な手段なのだと思います。

12. まとめ：明日を想う

三泊四日のRYLAセミナーを終えて、その感想をまとめなさいと言われるすと、次の三つになります。

まずは、『人間の価値観』について。人間の価値観はさまざまであり、その多様性を認めることが大切であるということです。たとえば、『死』についてですと、死を考えることにより『生きることの価値』を感じられる人もいれば、死については全く触れたくないという人もいます。

しかし、人の価値観を尊重して過大に評価するのは問題があります。たとえば、人を殺すことに生きがいを持っている人を評価するわけにはいきません。

なぜならば、その価値を認めることは、他の大勢の価値観を否定することになるからです。重要なのは、いかに調整を図るかという『バランス』です。

従いまして、他人の価値観を認められるになるには、『バランス感覚』が必要になるわけです。

次に『学問の必要性』について。RYLAでの講義を通して感じたことは、今回の講義は学校のような受験や試験のための講義ではなく、生きていくうえで必要な『価値観』に関する講義だったということです。

人間が生きていくには、学びつづけなければなりません。しかし、いったい何を学べば良いかは学校では教えてくれません。近代思想の父である福澤諭吉はその著『学問のすすめ』の中でこう述べております。

『凡そ世に学問と云ひ工業と云ひ政治と云ひ法律と云ふも、皆人間交際のためにするものにて、人間の交際にあらざれば何れも不用のものたる可し。』

結局のところ、『目的』は人間関係にあって、学問はその『手段』にすぎないと諭吉は言いたいのでしょう。このことは、『大勉強時代』といわれる今日において、道を踏み外さないための大切な教訓ではないでしょうか。

そして、最後に『相互依存』について。今回のセミナーの中で、様々な人と手を握り合う機会がありました。

また、セミナーが終わり四日間一緒に過ごした仲間と別れる際に、お互い手を取り合い『がんばれよ!』と励まし合いました。手を握り合い、相手のぬくもりを感じ、自分の存在を確認することが生きていく上で、必要な手段なのだ実感しました。

人間は一人では生きられません。そうかといって、他人に依存ばかりしてはダメ人間の標本になってしまいます。自立心を養い、相手の価値観を認められるようになってこそ、はじめて『相互依存』が成り立つのです。

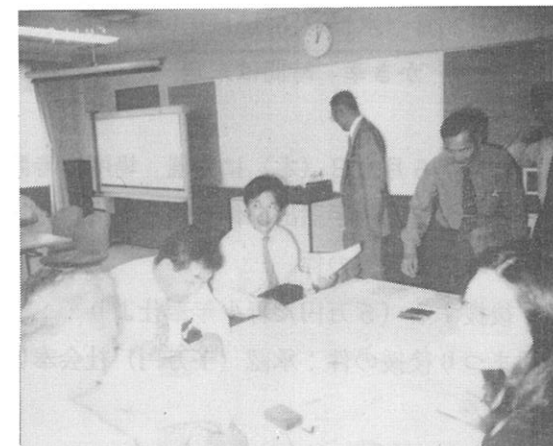
人間は、価値についてのみ本格的な関心を抱くという意味で、奇妙な動物です。それが人間の宿命というならば、このセミナーでやったことのように、その価値観について夜を徹して語り合うということが、人間が生きていく上で必要なことではないでしょうか。

13. 謝辞

このたび、このような素晴らしいセミナーに参加させて頂きましてありがとうございます。直接的に紹介をしてくださった佐野栄作氏、そして資金面でのバックアップしてくださいましたロータリーの方々の協力に対して、心より厚く御礼申し上げます。



久保元さんへ終了証



5月9日(水) 健康診断 於: 生石研修センター

理事・役員会議事録

高砂青松ロータリークラブ

通算	第282回
2000～2001	第11回
日	平成13年5月9日
場所	生石研修センター

出席者

				臨時出席者	
唐津	○	中谷	○	鹿間行	○
丸山	×	藤本	○	大森千	○
内海	○	大森明	○		
大橋	○	廣瀬	○		
庄司	○	森本	○		

会長挨拶： 理事会も残すところ1回となりました。最後まで宜しくお願いします。

報告事項： 出席報告（内海 薫）（参照①）
 前月の出席報告で3/21, 3/28の報告に誤りがありました。今月の報告に訂正願います。
 会費納入状況（大橋卓司） 4月末 100%

議案事項：

- 5月、6月のプログラムの件（参照②）…承認
- 例会変更の件
 創立記念例会 6月20日（水）→ 6月21日（木）
 場所 かき幸 時間は未定
- その他
 - 親睦ゴルフの件：6月21日（木）に開催 場所、時間は未定
 - 2クラブ合同ゴルフ、選手選出の件 親睦委員会一任
 - 兵庫県軟式野球協会後援の件
 今回に限り後援する（5万円）青少年奉仕より
 - 武蔵・伊織まつり後援の件：承認（1万円）社会奉仕より

①出席報告

3月度 本クラブ出席率 72.69% メークアップ率 26.93% 修正出席率 98.62%
 4月度 本クラブ出席率 78.71% メークアップ率 20.37% 修正出席率 99.08%（途中経過）

	3/9	3/14	3/21	3/28	4/4	4/11			
会員数	60	60	60	60	59	59			
出席数	38	38	39	42	41	44			
メークアップ	15	16	13	12	13	9			
欠席数	1	0	2	0	0	1			
出席免除	6	6	6	6	6	6			
(病欠)	0	0	0	0	0	0			

②5月、6月のプログラム

5/2	休会 定款第4条第1節による	6/6	各委員会事業報告
9	職業奉仕委員会担当 健康診断 於：生石研修センター	13	各委員会事業報告
16	青少年奉仕委員会担当 RYLA参加者 久保 元氏	20	6月21日（木）に変更 創立記念例会 於：かき幸
23	クラブ協議会 新旧合同委員会	27	年度最終例会 会長・幹事退任挨拶
30	親睦委員会担当 フリートーク例会		